

特 241

848

昭和十二年七月五日（開館廿七周年記念日）

圖書館關係法規

附 簡明十進分類表

市立高岡圖書館



始



持241
848

目次

市立高岡圖書館々則……………一
圖書閱覽細則、圖書持出細則、處務細則……………一
圖書館令……………七
公立圖書館職員令……………八
公立圖書館令施行規則……………七
準用條文……………三
文官任用令、高等官官等俸給令、公立學校職員俸給令、私立學校令……………一七
富山縣圖書館事業獎勵規程……………一七
圖書館令及同施行規則並公立圖書館職員令改正實施注意事項ニ關スル件……………二〇
富山縣圖書館協會々則……………二二
富山中央圖書館々則施行細則中(貸出文庫抄)……………二四
貸出文庫の運賃割引……………二六
高岡文化會規約……………二七
高岡讀書會規約……………二八
高岡乃木講規約……………二九
高岡童話の會規約……………三〇
附 簡明十進分類表……………三一
圖書(洋裝)の形狀及寸法一覽……………三三

市立高岡圖書館々則

第一條 本館へ内外古今ノ圖書ヲ蒐集保存シ公眾ノ閱覽ニ供ス
第二條 本館ノ開館時限左ノ如シ 但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ
四月一日ヨリ九月末日迄午前八時開館午後九時閉館
十月一日ヨリ三月末日迄午前九時開館午後九時閉館
但シ兒童ノ午後五時限トス
第三條 本館定期休館日左ノ如シ
但シ臨時休館ハ其都度之ヲ揭示ス

歳首	十月一日ヨリ三日マテ
紀元	二月十一日
天皇	四月二十九日
明治	七月二日
大正	十二月二十五日
天皇	十二月二十八日ヨリ同月三十一日マテ
末	
七、八、九	八月、九月ノ内一週間
八、館内掃除	毎月末日

第四條 本館圖書ヲ借受閱覽シタルモノ退館スル時ハ其圖書ヲ返還スヘシ
第五條 本館圖書ハ年齢十二歳以上ニシテ本市内ニ居住スル者ニ限り保證人ヲ定メ日數十日以内館外持出シ閱覽スルコトヲ得 但シ館長ノ認ムル所ニ依リ閱覽日數ヲ延長シ又保證人ヲ省略セシムルコトヲ得

同館 寄贈本



第六條 前條ニ依リ圖書ヲ館外ニ持出シ閱覽セントスル者ハ圖書持出料トシテ一箇年金壹圓ヲ納入スヘシ
但シ納入シタル圖書持出料ハ事故ノ如何ニ拘ハラズ之ヲ還付セス

第七條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニハ圖書持出料ヲ徴収セス

- 一、本市名譽職員
- 二、官衙公署並ニ官公立學校及圖書館
- 三、市長ニ於テ特ニ圖書持出料免除ノ必要アリト認メタル者

第八條 館外持出許可ヲ受ケタル本館圖書ハ之ヲ他ヘ貸與スルコトヲ得ス

第九條 閱覽人故意又ハ過失ニ依リ本館ノ物品ヲ滅失毀損シタルトキハ現品又ハ代價ヲ以テ賠償セシム賠償義務ヲ完了セサル中
ハ圖書閱覽ヲ許サス

第十條 閱覽人本則ニ違背シ又ハ館員ノ指揮ニ從ハス又ハ他ノ閱覽人ノ妨害トナルモノハ退館ヲ命シ又ハ期間ヲ定メ入館ヲ禁止
スルコトアルヘシ

第十一條 公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ本館ニ圖書ノ保管ヲ委托セントスルモノハ書名冊數價格及住所氏名ヲ詳記シタル願書
ヲ提出シ許可ヲ受クヘシ

第十二條 委托圖書ハ委托者ノ都合ニ依リ返還ヲ望ムトキハ臨時返付ス

第十三條 委托圖書使用ニ依リ汚損、破損、火災盜難其他避クヘカラサル天災ニ依ル損害ハ本館其實ニ任セス

第十四條 委托圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスヘシ
但シ委托者ノ承諾ナキモノハ館外持出ヲナサシメス

○ 圖書 閱 覽 細 則

第一條 本館圖書ヲ閱覽セントスル者ハ係員ニ就キ閱覽券ヲ受ケ圖書目錄ニ依リ要求圖書ノ書名分類冊數表裝番號及月日住所職
業氏名ヲ記入シ係員ニ差出シ其圖書ヲ借受ケ退館セントスルトキハ其借受圖書ヲ返納シ其證ヲ受ケタル後ニアラサレハ退

寄館本

館スルコトヲ得ス

第二條 亂醉者精神病者及異樣ノ服裝シタルモノ者類ヲ伴ヒ又ハ巨大ノ荷物若クハ危險物ヲ携帯スル者ハ入館スヘカラス

第三條 閱覽人ハ係員ノ指揮ヲ受ケ男女少年各閱覽室ニ於テ靜肅默讀シ閱覽室外ニ於テ閱覽ヲ許サス

第四條 閱覽人ハ館内ヲ徘徊シ圖書庫ヘ立チ入ルヲ許サス

第五條 館内ニ於テ火氣ヲ弄シ又ハ休憩室以外ニ於テ私語、雜談、喫煙、飲食等閱覽人ノ妨害トナルヘキ行爲アルヘカラス

○ 圖書 持 出 細 則

第一條 圖書館ノ圖書ヲ持出シ借用セントスルトキハ圖書持出券交付願ニ保證人一名連署ノ上圖書持出料トシテ一箇年金壹圓ヲ
本市金庫ニ納入シタル領收書ヲ之ニ添ヘテ圖書館ニ差出シ圖書持出券ノ交付ヲ受クヘシ

第二條 前條保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ市内ニ一戸ヲ構ヘ館長ニ於テ圖書辨償ノ資力アリト認ムルモノニ限ル

第三條 圖書持出期限滿了後更ニ持出借用セントスルトキハ第一條ノ規程ニ依リ持出券ノ交付ヲ受クヘシ

第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニハ保證人ヲ要セス

- 一、本市内官公署及官公立學校職員
- 二、本市名譽職員
- 三、其他館長ニ於テ必要ナシト認ムル者

第五條 左ノ各號ノ圖書ハ持出スコトヲ得ス

- 一、事業辭書類
- 二、貴重圖書
- 三、本館ニ常置スヘキ必要アリト認メタル圖書
- 四、購求後一ヶ月未滿ノ圖書
- 五、二ヶ月ヲ經サル新聞雜誌

第六條 一人ノ持出シ得ヘキ圖書ハ一冊宛トス

但シ館則第七條ニ該當スルモノハ此ノ限ニアラス

第七條 圖書持出期限内ト雖モ必要ヲ生シタル場合ハ返還セシムルコトアルヘシ

第八條 持出圖書ノ返納ヲ怠リタルトキハ受取人ヲ派出シテ其圖書ヲ返納セシメ其ノ費用ハ持出者ニ負擔セシムルモノトス

第九條 圖書持出券及持出圖書ヲ他人ニ轉貸シタルトキハ圖書持出券ヲ無効トス

第十條 持出圖書ヲ紛失若ハ汚損シ又ハ返納セザルトキハ持出者若ハ保證人ノ責ニ任スヘシ

第十一條 圖書持出券ヲ亡失シタルトキハ其事由ヲ具シ直ニ再渡ヲ請フヘシ

第十二條 圖書持出ヲ止メントスルトキ若ハ期限満了ノ際直チニ圖書持出券ヲ返納スヘシ

第十三條 圖書持出者住所ヲ變更シタルトキハ新舊住所ヲ記シ届出ツヘシ氏名及印章ヲ變更シタル場合亦之ニ準ス

(式書)

圖書持出券交付願

貴館ノ圖書ヲ持出借覽致シ度御規則堅ク相守リ可申ニ付圖書持出券御交付相成度圖書持出料領収書
相添保證人連署此段相願候也

年 月 日 住所 職業 戸主又ハ續柄 氏 年 月 日 名 日生 印

參錢収 入印紙

右本人ニ於テ持出圖書ニ關シ返納若クハ辨償セザルトキハ一切其ノ責務ヲ負ヒ可申候

市立高岡圖書館長殿 職業 保證人 氏 年 月 日 名 日生 印

第十四條 本館ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一、館長 一名
- 二、司書 若干名
- 三、書記 若干名
- 四、事務員 若干名

事務員ハ市長之ヲ任免ス

第十五條 職員ノ旅費ハ別表ニ依ル

但急行料金及船賃其他旅費支給ニ關シテハ市有給吏員旅費支給規程ヲ準用ス

第十六條 本則施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

別表

職名	汽 車 賃	車馬賃一里ニ付	日當一日ニ付	宿泊一夜ニ付
館長	二等ノ賃金	八拾錢	貳圓	六圓
司書書記	二等ノ賃金	七拾錢	壹圓五拾錢	四圓
事務員	三等ノ賃金	六拾錢	壹圓	參圓

〇 處 務 細 則

第一條 館長ハ市長ノ指揮監督ヲ受ケ本館ヲ管理ス

但左記常務ハ館長ニ於テ專行スルコトヲ得

- 一、輕易ノ事務ニ關シ又ハ館長又ハ館名ヲ以テ文書ヲ發スルコト
- 二、圖書ノ分類出納ニ關スル事項

三、圖書館外へ持出借用ヲ許可スルコト

但シ一ヶ月分取纏メ翌月五日迄ニ市長ニ報告スヘシ

四、圖書並ニ物品ノ保管整理ニ關スル事項

五、館内諸般ノ取締

第二條 書記及事務員ハ館長ノ指揮ヲ受ケ館務ニ従事ス

第三條 館長ハ圖書原簿目録其他必要ナル帳簿ヲ備フヘシ

第四條 館長ハ諸般ノ統計ヲナシ市長ヘ報告スヘシ

第五條 新ニ圖書ヲ受領シタルトキハ原簿ニ登録シ便宜揭示スヘシ

第六條 寄贈圖書ヲ受領シタルトキハ帳簿及ヒ圖書ニ寄贈年月日氏名ヲ記シ永ク好意ヲ表スヘシ

第七條 閱覽人ヨリ分類ニ關シ質問アリタルトキハ親切ニ指示シ圖書ハ鄭重ニ出納シ貸渡ストキハ破損ノ有無ヲ示シ返還ノトキハ調査シテ受領スヘシ

第八條 圖書並ニ物品ヲ故意若クハ過失ニ依リ滅失毀損シタルトキハ取扱者ヲシテ賠償セシムヘシ

第九條 毎月末日ノ休暇日ニハ大掃除ヲナシ館内ノ整頓ヲナスヘシ

第十條 曝曬其他必要ニ應ジ臨時休館セントスルトキハ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 文書ノ収發ハ件名簿ニ登録スヘシ

第十二條 文書ノ保存ニ關シテハ市文書保存ニ關スル規程ヲ準用ス

第十三條 職員ハ圖書館則第三條第一項第二號ノ休館日ノ外事務ニ差支ナキ限り館長ノ承認ヲ得交替シテ日數三日間休暇スルコトヲ得

第十四條 職員ノ服務及當直ニ關シテハ市吏員ニ關スル規程ヲ準用ス

但應託事務員ハ此ノ限ニアラス

昭
和
八
年
六
月
三
十
日
勅
令
第
百
七
十
五
號
改
正

圖 書 館 令

七

第一條 圖書館ハ圖書記録ノ類ヲ蒐集保存シテ公衆ノ閱覽ニ供シ其ノ教養及學術研究ニ資スルヲ以テ目的トス

圖書館ハ社會教育ニ關シ附帶施設ヲ爲スコトヲ得

第二條 北海道府縣、市町村、市町村學校組合、町村學校組合並ニ町村制ヲ施行セザル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體及其ノ組合ハ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

第三條 道府縣立圖書館ハ地方長官、市町村立圖書館ハ市町村長之ヲ管理ス

前項中市町村ノ圖書館ニ關スル規定ハ市町村學校組合、町村學校組合並ニ町村制ヲ施行セザル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體及其ノ組合ノ圖書館ニ關シ之ヲ準用ス

第四條 商工會議所、農會其ノ他ノ公共團體ハ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設置シタル圖書館ハ私立トス

第五條 私人ハ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

第六條 圖書館ハ公立又ハ私立ノ學校、博物館等ニ附設スルコトヲ得

第七條 圖書館ノ設置廢止ハ道府縣立ノモノニ在リテハ文部大臣、其ノ他ノモノニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

圖書館ノ設置廢止ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 圖書館ニハ分館ヲ設置スルコトヲ得前條ノ規定ハ分館ノ設置廢止ニ之ヲ準用ス

第九條 圖書館ノ設備及經營ニ關シ必要ナル事項ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 地方長官ハ管内ニ於ケル圖書館ヲ指導シ其ノ聯絡統一ヲ圖リ之カ機能ヲ全カラシムル爲メ文部大臣ノ認可ヲ受ケ公立圖書館中ノ一館ヲ中央圖書館ニ指定スヘシ

中央圖書館ノ機能ニ關シ必要ナル事項ハ文部大臣之ヲ定ム

七

六

第十一條 圖書館ニハ館長並ニ相當員數ノ司書及書記ヲ置クヘシ

第十二條 文部大臣ハ圖書館事業獎勵上必要アリト認ムルトキハ公立又ハ私立ノ圖書館ニ對シ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ獎勵金ヲ交付ス

第十三條 公立圖書館ニ於テハ閱覽料又ハ附帶施設ノ使用料ヲ徵收スルコトヲ得

第十四條 私立學校令第一條、第三條、第七條及第十條乃至第十二條ノ規定ハ私立圖書館ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス本令施行ノ際現ニ存スル私立圖書館ニシテ從前ノ規定ニ依リ其ノ設置ヲ開申シタルモノハ本令ニ依リ其ノ設置ニ付認可ヲ受ケタルモノト看做ス
前項ニ規定スル圖書館ノ館長ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者ハ本令施行後一月内ニ其ノ住所及氏名ヲ地方長官ニ届出テタル者ニ限り本令ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

圖書館令施行規則

昭和八年七月二十六日文部省令第一四號改正

第一條 圖書館ノ設置ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ道府縣立ノモノニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ地方長官ニ申請スヘシ

一 名 稱

二 位 置

三 用地建物ノ面積及圖面（他ノ建物ヲ充當スル場合ハ其ノ使用スヘキ場所ノ面積及圖面）

四 開 館 年 月

五 館 則

六 閱覽所ノ設備ナキモノハ其ノ事由

七 經費及維持ノ方法

前項第一號乃至第五號ノ變更ハ道府縣立ノモノニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ地方長官ニ開申スヘシ

第二條 圖書館ノ廢止ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ道府縣立ノモノニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ地方長官ニ申請スヘシ

第三條 圖書館ノ設置者ヲ變更セントスルトキハ第一條第一項ノ事項並ニ變更ノ事由ヲ具シ新舊設置者連署ノ上道府縣立圖書館ニ關係アル場合ニ在リテハ文部大臣、其ノ他ノ場合ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 第一條及第二條ノ規定ハ分館ノ設置廢止ニ之ヲ準用ス

第五條 館則ニハ凡ソ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 開館及休館ニ關スル事項

二 圖書記錄ノ類ノ館外貸出並ニ貸出文庫等ニ關スル事項

三 圖書記錄ノ類ノ受贈及受託ニ關スル事項

四 閱覽者心得ニ關スル事項

五 附帶施設ニ關スル事項

六 閱覽料其ノ他使用料ニ關スル事項

第六條 中央圖書館ノ指定ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ圖書館ニ關シ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

一 名稱及位置

二 中央圖書館トシテ適當ナル理由

三 職員調並ニ館長ノ經歷

四 藏 書 數

五 經 費 豫 算

六 當該道府縣内ノ圖書館數並ニ圖書館未設置ノ市町村數

道府縣立圖書館以外ノ公立圖書館ヲ中央圖書館ニ指定セントスルトキハ前項各號ノ外左ノ事項ヲ具スヘシ

- 一 北海道府縣ヨリ當該圖書館ニ對スル補助金交付ニ關スル事項
- 二 第一條第一項第三號及第五號ニ掲クル事項

第七條 中央圖書館ニ於テハ凡ソ左ノ事項ヲ實施スヘシ

- 一 貸出文庫等ノ施設
- 二 圖書館經營ニ關スル調査研究及指導
- 三 圖書館書籍標準目錄ノ編纂
- 四 圖書館ニ關スル機關紙類ノ發行
- 五 圖書館ニ關スル研究会、協議會、展覽會等ノ開催並ニ其ノ開催ノ幹旋
- 六 圖書及圖書館用品ノ共同購入ノ幹旋
- 七 郷土資料ノ蒐集其ノ他適當ナル附帶施設
- 八 前各號ノ外圖書館ノ指導聯絡統一上必要ナル事項

第八條 道府縣立圖書館及中央圖書館以外ノ圖書館ノ設備及經營ニ關シ必要ナル事項ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ地方長官之ヲ定ム

第九條 地方長官ハ圖書館員又ハ圖書館員タラントスル者ノ爲必要ナル教習施設ヲ中央圖書館ニ附設スルコトヲ得

第十條 道府縣立圖書館及中央圖書館ニ於テハ每會計年度開始前收支豫算ヲ、每會計年度終了後收支決算ヲ文部大臣ニ開申スヘシ

附 則

本令ハ昭和八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

公立圖書館職員令

昭和八年六月三十日勅令第百七十六號改正

第一條 公立圖書館ニ左ノ職員ヲ置ク

第二條 館長ハ委任官又ハ判任官ノ待遇トス地方長官ノ監督ヲ承ケ館務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

中央圖書館ノ館長ハ兼テ其ノ道府縣内ニ於ケル圖書館ノ事務ヲ視察ス

第三條 司書ハ委任官又ハ判任官ノ待遇トス館長ノ指揮ヲ承ケ圖書記録ノ類ノ整理、保存及閲覧ニ關スル事務ヲ掌ル

第四條 書記ハ判任官ノ待遇トス館長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第五條 委任官ノ館長司書ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

- 一 文官任用令第五條第一項ノ規定ニ依リ高等文官ト爲ルノ資格ヲ有スル者
- 二 學位ヲ有スル者、大學令ニ依ル大學ニ於テ試験ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ帝國大學分科大學ヲ卒業シタル者
- 三 司書檢定試験ニ合格シタル者、高等學校高等科大學令ニ依ル大學課程若ハ高等學校大學課程科ヲ卒業シタル者又ハ專門學校入學資格ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年以上ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ二年以上判任官待遇以上ノ職ニ在リテ圖書又ハ社會教育ニ關スル事務ニ従事シタルモノ
- 四 五年以上判任官待遇以上ノ職ニ在リテ圖書又ハ社會教育ニ關スル事務ニ従事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- 五 圖書又ハ社會教育ニ關シ特別ノ學識經驗アル者ニシテ高等試驗委員ノ證衡ヲ經タルモノ

前項各號ノ外委任官待遇ノ館長ハ委任官待遇以上ノ職ニ在リテ教育ニ關スル事務ニ従事シタル者ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

第六條 判任官待遇ノ館長、司書及書記ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

- 一 文官任用令第六條ノ規定ニ依リ判任文官ト爲ルノ資格ヲ有スル者
- 二 前條第一項第一號、第二號又ハ第五號ニ該當スル者
- 三 司書檢定試験ニ合格シタル者

四 三年以上圖書又ハ社會教育ニ關スル公務ニ從事シタル者
 五 圖書又ハ社會教育ニ關シ學識經驗アル者ニシテ普通試験委員ノ銜ヲ經タルモノ
 前項各號ノ外判任官待遇ノ館長ハ判任官待遇以上ノ職ニ在リテ教育ニ關スル事務ニ從事シタル者ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

第七條 司書檢定試験ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 奏任官待遇職員ノ任免ノ奏薦宣行ハ奏任官ノ例ニ依リ判任官待遇職員ノ任免ハ判任官ノ例ニ依ル

第九條 奏任官待遇職員ノ待遇相當官等ハ館長ニ在リテハ高等官四等以下トシ司書ニ在リテハ高等官五等以下トス

判任官待遇職員ノ待遇相當等級ハ判任官一等乃至四等トス

第十條 公立圖書館ノ館長ニシテ高等官四等ノ待遇ヲ受ケ在職三年以上ニ至リ功績アル者ハ特ニ高等官三等ノ待遇ト爲スコトヲ得但シ町村立圖書館ノ館長ニ付テハ文部大臣ノ指定シタル町村立圖書館ニ置キタル者ニ限ル

第十一條 高等官官等俸給令第四條及第五條第一項ノ規定ハ奏任官待遇ノ公立圖書館職員ニ之ヲ準用ス

他ノ官職ニ在リタル者ニシテ奏任官待遇職員タルモノニ付テハ他ノ官職ニ付受ケタル待遇ハ之ヲ本令ニ依リ受ケタル待遇ト看做ス

ト看做ス

第十二條 公立圖書館職員ノ俸給ハ別表ニ依ル但シ他ノ官職ニ在ルトキハ別表ニ掲グル最低額以下ノ俸給ヲ給スルコトヲ得

第十三條 公立學校職員俸給令第六條、第十條乃至第十五條及第十六條乃至第十八條ノ規定ハ公立圖書館職員ニ之ヲ準用ス

第十四條 公立圖書館職員ノ分限ニ關シテハ公立學校職員ノ例ニ依ル

第十五條 本令中町村立圖書館ノ職員ニ關スル規定ハ町村學校組合並ニ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體及其ノ組合ノ設置スル圖書館ノ職員ニ之ヲ準用ス

本令ハ昭和八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行ノ際公立圖書館ノ館長、司書又ハ書記ニシテ別ニ辭令ヲ發セラレサル者ハ現ニ受クル俸給額（加俸ヲ含ム）ニ相當スル

級俸ヲ受クルモノトス但シ本令ニ規定スル各級ノ俸給額ニ相當セサル俸給（加俸ヲ含ム）ヲ受クル者ハ當分ノ内現在ノ儘支給スルコトヲ得其ノ者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸給ニ直近スル上級ノ俸給ヲ受クルモノト看做ス從前ノ規定ニ依ル俸給ノ各級ニ於テ經過シタル在職年數ハ之ヲ本令ニ依リ受クル俸給ノ相當級ニ於テ經過シタル在職年數ト看做ス但シ本令ニ規定スル各級ノ俸給額ニ相當セサル俸給ヲ受クル者ハ之ニ直近スル上級ニ於テ經過シタル在職年數ト看做ス

(表 別)

級	俸待遇別	奏任官待遇 館長 年俸	奏任官待遇 司書 年俸	判任官待遇 館長及司書 月俸	書記 月俸
一	級俸	三、四〇〇円	二、七〇〇円	一四五円	一三五円
二	級俸	三、〇五〇	二、五〇〇	一三五円	一〇五円
三	級俸	二、七〇〇	二、三〇〇	一三五円	一〇五円
四	級俸	二、五〇〇	二、一五〇	一〇五円	九五円
五	級俸	二、三〇〇	二、〇〇〇	一〇五円	八五円
六	級俸	二、一五〇	一、八二〇	九五円	七五円
七	級俸	二、〇〇〇	一、六五〇	八五円	六五円
八	級俸	一、八二〇	一、四七〇	七五円	六〇円
九	級俸	一、六五〇	一、三〇〇	六五円	五五円
十	級俸	一、四七〇	一、二二〇	五五円	五〇円
十一	級俸	一、三〇〇	一、〇五〇	四五円	四〇円
十二	級俸	一、一五〇	九七〇	四〇円	三五円

(準用條文)

◇文官任用令

第五條 奏任文官ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

- 一 高等試験行政科試験ニ合格シタル者
- 二 高等試験外交科試験ニ合格シテ二年以上外交官又ハ領事官ノ職ニ在リタル者
- 三 二年以上判事又ハ検事ノ職ニ在リタル者
- 四 裁判所構成法ニ依リ判事、検事又ハ司法官試補タル資格ヲ有シ二年以上陸軍法務官若ハ海軍法務官、朝鮮總督府若ハ南洋廳ノ判事若ハ検事又ハ臺灣總督府法院若ハ關東廳法院ノ判官若ハ檢察官ノ職ニ在リタル者

(第二項略)

第六條 判任文官ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

- 一 中學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト認定シタル學校ヲ卒業シタル者
- 二 高等試験令第七條ノ規定ニ依リ高等試験豫備試験ヲ受クルコトヲ得ル者
- 三 專門學校令ニ依リ法律學、政治學、行政學又ハ經濟學ヲ教授スル學校ニ於テ三年ノ課程ヲ履修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者
- 四 普通試験ニ合格シタル者
- 五 高等試験ニ合格シタル者
- 六 二年以上文官ノ職ニ在リタル者
- 七 四年以上上層員タル者

◇高等官官等俸給令

第四條 初メテ高等文官ニ任セラレタル者ノ官等ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セラレ、場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス但シ前官官等在職年數二年ヲ超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス陸シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ超ユルニ非サレハ陞叙スルコトヲ得

◇公立學校職員俸給令

第六條 一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ特ニ功勞アル職員ニハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ六百圓以内、判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ四百圓以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得

第十條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル職員ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ俸給額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第十一條 俸給ハ毎級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得但シ奏任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ年俸千三百三十圓以下ノ者及判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ月俸七十五圓以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 名稱又ハ待遇ノ異リタル職員若ハ種類ノ異リタル學校ノ職員ニ轉任スル場合ニ於テ支給スル俸給ハ前職ノ俸給額ニ相當スル俸給以下トス若シ相當額ナキトキハ其ノ最モ近キ上級ノ俸給以下トス但シ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ニ在リテハ一級ヲ進ムルコトヲ得

第十三條 退職後一年以内ニ再任セラル、場合ニ於テハ其ノ俸給ハ前職ノ俸給以下トス

前項ノ場合ニ於テ其ノ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ハ前職ノ等級ニ一級ヲ進ムルコトヲ得

前二項ノ規定ハ年俸千三百三十圓以下又ハ月俸七十五圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス退職後一年以内ニ名稱又ハ待遇ノ異リタル職員若ハ種類ノ異リタル學校ノ職員ニ任セラレタル場合ニ於テ前條ノ規定ヲ準用ス

第十四條 前三條ノ俸給額ニハ加俸ヲ算入セス

第十五條 休職者ニハ其ノ休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但シ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スル場合ニ於テ休職ヲ命セラレタル者ニ付テハ之ヲ給セス又ハ三分ノ一以下ヲ給スルコトヲ得

第十六條 特別ノ事情ニ依リ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ離キ場合ニ於テハ地方長官ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 高等官官俸給令第二十三條乃至第二十九條ノ規定ハ勅任官又ハ委任官ノ待遇ヲ受クル職員ニ關シ判任官俸給令第十三條及第十四條ノ規定ハ判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニ關シ之ヲ準用ス

第十八條 俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規定ハ地方長官之ヲ定ム

◇私立學校令

第一條 私立學校ハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外地方長官ノ監督ニ屬ス

第三條 私立學校ニ於テハ校長若ハ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ本令中校長ニ關スル規定ハ之ヲ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ニ適用ス

第七條 私立學校ノ校長又ハ教員ニシテ不適當ナリト認メタルトキハ監督官廳ハ之カ解職ヲ命シ又ハ其ノ與ヘタル認可ヲ取消スコトヲ得

第十條 左ノ場合ニ於テハ監督官廳ハ私立學校ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得

- 一 法令ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 安寧秩序ヲ紊亂シ又ハ風俗ヲ壞亂スルノ虞アルトキ
- 三 六箇月以上規定ノ授業ヲ爲ササルトキ
- 四 法令ノ規定ニ依リ監督官廳ノ爲セル命令ニ違反シタルトキ

第十一條 監督官廳ニ於テ學校ノ事業ヲ爲スモノト認メタルトキハ其ノ旨ヲ關係者ニ通告シ本令ノ規定ニ依ラシムヘシ

第十一條ノ二 大學、專門學校、高等學校又ハ中學校ニ於テハ每學年度又ハ每事業年度ノ開始前收支豫算ヲ定メ、每學年度又ハ每事業年度ノ終了後收支決算ヲ爲シ監督官廳ニ届出ツヘシ

監督官廳ハ必要ト認ムルトキハ收支豫算ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十二條 第十條ニ依ル處分ニ對シテハ訴願法ニ依リ訴願スルコトヲ得

富山縣圖書館事業獎勵規程

富山縣令第三十號

昭和二年二月富山縣令第十二號圖書館事業獎勵規定ハ之ヲ廢止ス

昭和十年五月二十四日

富山縣知事

富山縣告示第三百十三號
圖書館事業獎勵規程左ノ通定ム

昭和十年五月二十四日

富山縣知事

圖書館事業獎勵規程

第一條 圖書館事業ノ普及發達ヲ圖ル爲メ圖書館令第二條及第五條ニ依リ圖書館事業ヲ施設經營スルモノニ對シ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ每年度縣費豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ交付ス

- 一 新ニ圖書館ヲ設置シタルモノニ對シテハ當該年度ニ於テ之ニ要スル經常費ノ三分ノ二以内
- 二 既ニ圖書館ヲ設置經營スルモノニ對シテハ新ニ設置シタル年度ノ翌年度ヨリ向フ二年間其ノ年度ニ於テ圖書購入費百圓以上ヲ支出シ且ツ成績良好ナルモノニ限リ圖書購入費ノ三分ノ二以内

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルモノハ、圖書館管理者又ハ設立者ニ於テ毎年十二月三十一日迄ニ左ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スベシ

- 一 新設圖書館
 - イ、事業計畫概要
 - ロ、當該年度經費ノ收支豫算明細書（議決シタルモノ）
 - ハ、事業維持ノ方法
 - ニ、藏書、冊數（藏書ノ類別シ向購入及寄附ノ冊數ヲ區別シタルモノ）
 - ホ、圖書館則
- 二 既設圖書館
 - イ、事業施設概要
 - ロ、當該年度及前年度經費ノ收支豫算明細書（議決シタルモノ）
 - ハ、一年開館日數及閱覽人員（自前年四月一日至翌年三月三十一日分ヲ計上シ向一般人及小學校兒童ヲ區別シタルモノ）
 - ニ、前號「ヘニホ」ノ各事項
 - 三、前各號ノ事項ハ各別紙ニ記載スヘシ
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル圖書館ノ管理者又ハ設立者ハ其ノ年度ノ經費決算及事業成績ニ圖書購入調査（別記様式）ヲ添ヘ翌年度七月三十一日限リ知事ニ報告スヘシ
- 第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル圖書館ニ關シ必要ニ應ジ書類、帳簿ヲ徴シ又ハ其ノ事業ヲ調査シ若ハ出納ヲ検査スルコトアルヘシ
- 第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ一部若ハ全部ヲ還付セシムルコトアルヘシ
 - 一 本規程又ハ本規程ニ基キ發スル命令ニ違反シタル時
 - 二 其ノ年度ニ於ケル圖書購入支出決算額カ獎勵金交付當時ノ豫算額ヨリ著シク減シタルトキ
 - 三 獎勵金交付申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタルコトヲ發見シタルトキ

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行スルニ依リ、本規程ニ基キ發スル命令ニ違反シタル時、其ノ年度ニ於ケル圖書購入支出決算額カ獎勵金交付當時ノ豫算額ヨリ著シク減シタルトキ、獎勵金交付申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタルコトヲ發見シタルトキ、左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ一部若ハ全部ヲ還付セシムルコトアルヘシ

(式 様)

計	購入年月日	圖書名	冊數	著者名	發行年月日	發行所	購入價格	摘要

備考 購入價格ハ圖書ノ實際購入額ヲ計上スヘキモノナルコト

社教第一九五號
昭和十年五月二十四日
富山縣學務部長
市 長 殿
町 村 長 殿
公立圖書館長殿

圖書館事業獎勵規程改正並ニ圖書館設置に關する件

今般本縣令第三十號ヲ以テ圖書館事業獎勵規程ヲ廢止シ新ニ告示第三百十三號ニ依リ同規程ヲ告示セラレ候處右ハ從來ノ獎勵方法ヲ改正シ昭和十年度以降新設圖書館ノミニ獎勵金ヲ交付セララルコトト相成主トシテ圖書館ノ設置ヲ獎勵セララルル次第ニシテ之ガ爲既設圖書館ニ對シテハ縣財政ノ都合上乍遺徳右交付セラレザルコトニ相成候條御了知相成度而シテ圖書館施設ノ事業ハ今更述ブル迄モナキコト乍ラ一般公衆教育、學術研究或ハ娛樂供給上重要ナル機關ニシテ之ガ整備ト其ノ振否ノ如何トハ直接民衆

教育上ニ影響スル所甚大ニシテ地方ノ文化モ亦之ニ依リテ支配セラルル所極メテ多キコトト被存候本縣ニ於テハ近時其ノ設置スルモノ漸次増加スト雖モ尙之ガ先進府縣ニ比シ遙ニ及バザルモノ有之ハ寔ニ遺憾ニ不堪候從來應機會アル毎ニ獎勵スル處ナルモ各町村ニ於テ尠クトモ一館以上ノ設置ヲ見以テ一般部民教育ノ向上ニ併セ民衆娛樂ノ供給ヲ圖リ一層社會ノ文運ニ後レザルヲ所期セラレ之ガ速ニ設置方具體化候様特ニ御配慮相成度依命此段及通牒候也

追テ昭和十年度ヨリ新設圖書館ハ向フ三年引續キ獎勵金ノ交付ヲ得ラルルモ新設年度後ノ二年ハ初年度ヨリ減率トナルベク又昭和八年度新設ノモノハ同十年度一年分、同九年度新設ノモノハ同十、十一兩年分、各右適用ヲ受クル次第二有之候條御了知相成度申添候

**圖書館令及同施行規則並公立圖書館職員令
改正實施注意事項ニ關スル件**

昭和九年六月十五日社教第二五一號通牒

過般圖書館令及同施行規則並公立圖書館職員令改正セラレ候ニ付テハ其ノ旨趣並施行上ニ關シ左記事項御留意ノ上實施上遺憾ナキヲ期セラレ度尙圖書館設置ニ關シテハ特ニ御配慮相成度依命此段及通牒候也

記

- 一、改正圖書館令ハ圖書館ノ本務ヲ明記シ公衆ノ教養機關タルコトヲ示スト共ニ學術ノ研究機關タルコトヲ明ニセリ蓋シ之ニ依リテ圖書館職員ハ其ノ責任ノ重キヲ自覺スベク一般民衆ニ對シテハ其ノ教養機關タルコトヲ知悉セシメントス又改正令ニ於テハ圖書館ノ職能ヲ擴充シ其ノ附帶事業トシテ土地ノ情況ニ應ジ各種社會教育施設ヲナサシメ以テ社會教育ノ全面的振興ニ寄與セシムルト共ニ圖書館ヲシテ地方文化ノ中心機關タラシメントセリ
- 二、圖書館ノ普及ハ普ク一般人ガ容易ニ之ヲ利用シ得ル程度ニ達スルヲ要シ之ガ爲ニハ各市町村ニ普及スベキハ勿論ナリ町村圖書館ノ如ク登館者少ク貸出ヲ主トスルモノニ在リテハ其ノ建物ハ小學校等ノ一部ヲ使用スレバ足ルベク從ツテ其ノ設置ニ要スル經費ハ比較的少額ナルヲ以テ未ダ其ノ設置ナキ町村ハ設置機運ヲ醸成セシメ其ノ實現ニ力メラレタシ本件ニ關シテハ本月九日召集市町村長會議ニ於テモ詳細指示シタル所ナリ又一般社會ニ對シテハ大ニ圖書館事業ノ宣傳ニ努メ其ノ理解ヲ深メ

之ガ利用方ヲ周知セシメラレタシ

尙文部省及本縣ニ於テモ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ圖書館ノ設置普及ト内容改善ニ力メツ、アリ

- 三、圖書館ノ設備ニ關シテ留意スベキ事項ハ明治四十三年文部省訓令圖書館設立ニ關スル注意事項ニ之ヲ示セリ今後ト雖モ尙之ニ據リ一層努力セラレタシ

圖書館ノ設備中最モ力ヲ注グベキハ其書ノ豐富ナル備付ニアリ之ガ實現ニハ年々相當ノ圖書費ヲ計上スルト共ニ圖書ノ選擇ニ細心ノ留意ヲ拂ハレタシ尙藏書ハ其ノ土地ノ事情ニ留意シテ之ヲ整ヘ其ノ藏書數ハ土地ノ需要ヲ充シ且地方民ノ指導啓發ニ遺憾ナキ程度ヲ以テ標準トナスベキモ町村圖書館等ニ於テハ凡テ其ノ利用地域内ノ人口二分ノ一ノ數ヲ以テ大體右ノ標準ニ合致スルモノト見テ誤リナカルベシ

- 四、圖書館ノ機能ヲ増進シ統制アル活動ヲナサシメンガ爲ニハ市町村圖書館ニ對シ適當ナル指導機關ト其ノ聯絡統制ニ當ル機關トヲ必要トス是レ今次ノ改正ニ於テ中央圖書館制度ヲ採用シタル所以ナリ

本縣ノ中央圖書館ニ付テハ本年五月一日富山市立圖書館ヲ指定シ相當ノ補助金ヲ支出シ着々事業實施ニ力メツ、アリ中央圖書館ハ職能大ニシテ其ノ經營ニ關シ博ク知識ト技能トヲ要スルヲ以テ商議委員會等ヲ設ケ其ノ經營ニ遺憾ナキヲ期セラレタシ

圖書館ノ活動ハ又職員ノ充實ニ俟ツ所大ナルベシ然ルニ從來獨立ノ圖書館ニシテ館長ノ專任者或ハ司書、書記ノ充足セザルモノノ極メテ多キハ遺憾ナリ又小圖書館ニシテ專任職員ヲ置キ難キ向ハ兼任ヲ増シ其ノ活動力ニ遺憾ナキヲ期スベシ是レ改正圖書館令ニ職員ノ規定ヲ置キタル所以ナリ此點及職員充實ノ待遇ニ關シテハ本年五月八日社教第二六八號通牒ヲ以テ既ニ示シタル處ナルモノ一層配意セラルベシ

圖書館事業ノ振興ハ職員ノ實ニ因ルコト極メテ大ニシテ之ガ任用ニ當リテハ特ニ意ヲ用フベキハ勿論ナルモ適當ナル教習施設ヲ設ケ隨時其ノ經營ニ關スル知識ト技能トヲ授クルハ極メテ必要事項タルベシ是レ改正圖書館令施行規則ニ該規定ヲ置キタル所以ナリ各圖書館職員ハ常に圖書館經營上ノ研究ハ勿論各自ノ修養ニ努メラレタシ

從來圖書館職員ノ待遇ハ極メテ薄ク爲ニ優秀ナル人物ノ誘引ニ困難ナルノミナラズ其ノ活動ニ影響スル所少ナカラザリシヲ以

テ公立圖書館職員ニ對シテハ法令上之ガ待遇改善ニカメタリ充分改正ノ趣旨ニ副ハレ相當ノ俸給ヲ支給スル機力メラレタシ圖書館員ノ充實及待遇ニ關シテ本年五月八日社教第二六八號通牒ヲ以テ示シタル處ナルモ各位ハ如上ノ主旨ニ依リ一層配意セラレタシ

尙圖書館ノ職員ニシテ功勞顯著ナル者ハ之ヲ表彰シ其ノ功ニ酬ユルト共ニ之ニ依リテ他ヲ刺戟スルハ待遇ノ薄キ町村圖書館職員等ニ對シテハ其ノ精勵ヲ期待スル上ニ於テ極メテ適切ナル方策タルベシ又圖書館ノ經營佳良ニシテ成績顯著ナルモノニ對シテハ之ヲ選奨シテ其ノ成績ヲ賞スルモ亦圖書館經營ノ進歩ヲ圖ル良策タルヲ失ハズ

五、圖書館ノ活動不活潑ナルハ經費ノ寡少ニ基因スルコト亦極メテ大ニシテ之ガ増額ヲ圖ルハ蓋シ圖書館事業ノ振興上最モ急務トスル所ナルベシ今日ノ如ク財政經濟不如意ノ時代ニ於テハ單ニ其ノ設立者ノミノ支出ヲ以テハ到底満足ナル經費ヲ得ルコト困難ナルヲ以テ一方後援會ヲ設ケ其ノ援助ヲ受クルト共ニ他方附帶事業ノ實施等ニ付テハ各種團體ト共同施設ヲ爲シ以テ其ノ不足ヲ補フ等ハ缺クベカラザル方策ナルベキヲ以テ之ガ計劃ニ付テモ不斷留意セラレタシ

六、圖書館ノ効用ハ民衆ノ利用アリテ始メテ之ヲ收ムルヲ得ベシ惟フニ民衆ノ多クハ登館ノ餘暇ヲ有セズ從ツテ圖書館ニシテ圖書ノ貸出ナキトキハ圖書館ヲ利用シ得ザルベシ又圖書館ニシテ圖書ノ積極的貸出ヲナサザル時ハ民衆ハ容易ニ之ヲ利用セザルルベシ

富山縣圖書館協會々則

昭和六年十一月二十九日

第一條 本會ハ富山縣圖書館協會ト稱シ事務所ヲ富山市立圖書館内ニ置ク

第二條 本會ハ本縣圖書館事業ノ進歩發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- 第三條 本會ハ本縣内ノ圖書館ニ關係アルモノ及本會ノ目的ニ協賛スルモノヲ以テ會員トス
- 第四條 會員ハ會費トシテ毎年金壹圓ヲ納ムルモノトス
- 第五條 本會ハ其目的ヲ達成スル爲ニ左ノ事業ヲ行フ
- 一、圖書及圖書館ニ關スル研究會講習會等ヲ開催スルコト
 - 二、圖書館事業ノ理解ヲ深カラシメムガ爲講演會、展覽會等ヲ開催スルコト
 - 三、圖書ノ選擇購入修繕及圖書館用品ノ購入等ヲ斡旋スルコト
 - 四、新ニ圖書館ヲ設置セムトスルモノノ相談ニ應スルコト
 - 五、本縣圖書館事業功勞者ヲ表彰スルコト
 - 六、其他必要ト認メタル事業
- 第六條 本會ノ事業ヲ遂行スル爲ニ必要ニ應シ左ノ部會ヲ設ケルコトヲ得
- 一、公共圖書館部會
 - 二、學校圖書館部會
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- | | |
|------|-----|
| 一、會長 | 一名 |
| 二、幹事 | 若干名 |
| 三、書記 | 若干名 |
- 第八條 會長ハ會務ヲ總理シ幹事ハ會務ヲ處理シ書記ハ庶務會計ニ從事ス
- 第九條 會長ハ總會ニ於テ選任シ幹事及書記ハ會長之ヲ囑託シ各任期ヲ二ケ年トス
- 第十條 總會ハ毎年一回之ヲ開キ會務ヲ報告スルモノトス
- 但シ會場ハ縣下各都市輪番トス
- 第十一條 本會員中館長若クハ之ニ代ルヘキモノ、會合ヲ催シ豫算其他ニツキ協議スルコトヲ得

第十二條 本會則ハ總會ニ於テ出席者過半數ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

二四

富山縣圖書館協會 圖書館事業功勞者表彰規程

昭和十年四月二十一日

第一條 本會ハ總會ニ於テ圖書館事業ニ關スル左記功勞者ニ對シ表彰スルモノトス

一、圖書館職員ニシテ在職十五年以上ノ功勞者

二、圖書館經營ニ關シ特ニ功勞アル者

三、圖書館事業ノ爲メ巨額ノ金品ヲ寄附セラレタル功勞者

第二條 功勞者ノ證衡ハ本會役員會ニ於テ之ヲ爲スモノトス

第三條 表彰ノ方法ハ本會役員會ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

富山中央(市立)圖書館々則施行細則中貸出文庫抄

第二十條 貸出文庫ヲ分チテ左ノ二種トス

一、市内貸出文庫

二、中央圖書館貸出文庫

第二十一條 市内貸出文庫及中央圖書館貸出文庫ハ左ノ團體ニ貸付ス

イ、市内貸出文庫

一、學校、男女青年團、婦女會

二、其ノ他館長ニ於テ必要ト認メタル團體

ロ、中央圖書館貸出文庫

貸出文庫ハ公立圖書館、學校、男女青年團、婦女會、其ノ他館長ニ於テ必要ト認メタル團體ニ貸付ス

第二十二條 市内貸出文庫ノ貸付ヲ受ケントスル者ハ別表第二號甲書式ニ依リ其ノ旨館長ニ申出ツヘシ

第二十三條 中央圖書館貸出文庫ノ貸付ヲ受ケントスル者ハ管理者及文庫係員ヲ定メ第二號乙書式ニ依リ貸出文庫申込書ニ左記要項ヲ具シ公私立圖書館、學校ニ於テハ直接、其ノ他ニアリテハ其ノ市町村ヲ經由シ本館ニ提出スベシ

一、請求團體名

二、團體員數

三、届先

四、着聯名

五、着聯後ノ受取方法

六、申込年月日

七、返還年月日

八、管理者住所、職、氏名

第二十四條 貸出文庫ノ貸付ハ一箇所、一個トシ滞留期間ハ市内貸出文庫ハ一ヶ月、中央圖書館貸出文庫ハ貳ヶ月以内トス

第二十五條 貸出文庫ノ發送ニ際シ本館ハ必要ナル書類ヲ送付ス

管理者ハ受領ト同時ニ内容ヲ査閲シ本館ヨリ送付ノ領收書用紙ニ記入捺印ノ上直チニ本館ニ送付スベシ

第二十六條 管理者ハ文庫到着ト同時ニ其ノ管内ニ周知セシメ充分利用セシムベシ

第二十七條 管理者ハ閱覽ニ關スル所定ノ記帳ヲ明確ニセシムベシ

第二十八條 管理者ハ所定ノ期日迄ニ圖書ヲ整理シ滞留期間ヲ遲延スベカラズ

第二十九條 管理者ハ滞留期間滿了後五日以内ニ別紙閱覽成績報告用紙ニ所定ノ記載ヲナシ報告スベシ

二五

第三十條 貸出文庫ノ運搬費ハ發送ニ要スル分ハ本館ニ於テ之ヲ負擔シ返送費用ハ管理者ニ於テ負擔スルモノトス
 第三十一條 貸出文庫使用中亡失又ハ汚損、毀損シタル場合ハ本館則第十條ヲ準用シ管理者ヨリ之ヲ辨償セシム
 第三十二條 貸出文庫ノ滞留ヲ著シク延バシ又ハ諸報告ヲ怠ルモノハ貸出ヲ禁止スルコトアルベシ

貸出文庫申込書

- 一 請求團體名
- 二 團體員數
- 三 届先
- 四 着驛名
- 五 着驛後ノ受取方法
- 六 申込年月日
- 七 返還年月日

右ノ通り貸出文庫御回付相成度此段申込候也

管理者 職
住所氏名印

富山縣中央圖書館長殿

貸出文庫の運賃割引

小荷物便による貸出文庫運賃五割引
 圖書館の貸出文庫運賃は、昭和八年九月十四日鐵道省告示第四百十六號を以て、省線、連帶線、自動車線共に相當小荷物運賃五割引の特典を與へられ同年十月十五日より實施されて居る。
 貨物便による貸出文庫運賃三割引
 從來貸出文庫は、小荷物の場合に限り、運賃五割引の特典を受けてゐたが（前項）昭和十年八月三十一日鐵道省告示第三百三

十九號を以て昭和十年十月一日より、官公立圖書館、市町村、學校、青年團（處女會）等の間に往復する貨物扱の無料貸出圖書につき省線、連帶線、自動車線共その運賃の三割引が實施された。
 但し小荷物便貨物便共に公立圖書館長又は市町村長の證明書が要ります。

高岡文化會規約

- 第一條 本會ハ高岡文化會ト稱シ事務所ヲ市立高岡圖書館内ニ置ク
- 第二條 本會ハ郷土史ノ研究ヲ主トシ併セテ地方文化ノ向上ヲ期スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ノ事業左ノ如シ
- 1 郷土史及地方文化ニ關スル研究
 - 2 郷土史貴重書類ノ刊行
 - 3 講演會展覽會ノ開催
 - 4 其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項
- 第四條 本會ノ會員ヲ左ノ三種トス
- 1 名譽會員 總會ノ決議ニ依リ推戴スルモノ
 - 2 終身會員 一時ニ金拾圓以上ヲ寄贈スルモノ
 - 3 正會員 毎年金壹圓ヲ納付スルモノ
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置キ任期ヲ一ケ年トス
- 1 評議員長 一名 評議員中ヨリ選舉シ本會ノ會務ヲ總理ス
 - 2 評議員 若干名 總會ニ於テ選舉シ本會ノ主要事項ヲ決議ス
 - 3 幹事 若干名 評議員長之ヲ囑托シ庶務編輯會計ニ從事ス

第六條 本會ハ隔月一回研究會ヲ開キ必要ノ場合ハ臨時會ヲ開ク
 第七條 毎年一回總會ヲ開キ役員ヲ改選シ又庶務會計ヲ報告ス
 第八條 會則ノ變更ハ總會出席會員三分ノ二以上ノ決議ニ依ルモノトス

入會申込書

高岡文化會 會員申込候

住所

昭和 年 月 日 氏名印

市立高岡圖書館内
高岡文化會御中

高岡讀書會規約

第一條 本會ハ高岡讀書會ト稱シ事務所ヲ市立高岡圖書館内ニ置ク
 第二條 本會ハ讀書趣味ノ涵養並ニ其ノ普及發達ヲ圖リ會員相互ノ親睦及知識ノ交換ヲナスヲ以テ目的トス
 第三條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達スルタメ左ノ事業ヲ行フ
 イ、圖書ノ紹介、批評、推薦等
 ロ、講演會、研究會、座談會等ノ開催
 ハ、其他必要ト認ムル事業
 第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名

副會長	一名
顧問	若干名
幹事	若干名

第五條 會長及副會長ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ推戴シ顧問及幹事ハ會長之ヲ委囑ス
 第六條 役員ノ任期ハ各一年トス
 第七條 本會ハ毎月一回例會ヲ開催ス年一回定時總會ヲ開キテ役員ヲ改選シ庶務會計ヲ報告ス
 但シ會長必要ト認メタル場合ハ臨時總會又ハ役員會ヲ開クコトヲ得
 第八條 本會員ハ會費トシテ年額金五拾錢ヲ納入スルモノトス
 第九條 本會ノ主旨ニ賛同スル者ハ男女ヲ問ヘズ何人モ入會スルコトヲ得
 第十條 本規約ハ總會ノ決議ニヨリ改正スルコトヲ得

高岡乃木講規約

一 本講ヲ高岡乃木講ト稱シ事務所ヲ市立高岡圖書館内ニ置ク
 二 本講ハ東京乃木講元ヲ本部トスル修養團體ニシテ乃木大將御夫婦ノ心ヲ以テ心トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵ミ質素ヲ守ルヲ以テ目的トス
 三 講員ハ正講員贊助講員ノ二種トス
 正講員ノ紹介ニヨリ何人ニテモ入講スルヲ得ルモノトシ正講員ハ毎月金五錢ヲ納ムルモノトス
 四 本講ハ毎月十三日例會ヲ開キ教育勸語ヲ奉讀シ乃木大將御夫婦ノ御神靈ヲ拜シタル後其ノ事蹟及修養ニ關スル講話ヲ行フモノトス
 五 本講ニハ左記ノ役員ヲ置キ任期ハ三年トス
 但役員ノ選定ハ本部規約ニ準シ重任ハ妨ケナシ

昭和九年五月

- 260 内 國 法
- 270 外 國 法
- 280 軍 事
- 290 統 計

經濟・社會・教育

- 300 經 濟
- 310 生産・分配・企業
- 320 交換・消費・保險
- 330 商 業
- 340 交 通
- 350 財 政
- 360 社 會
- 370 社會問題
- 380 教 育
- 390 制度・實踐

理學・數學

- 400 理 學
- 410 數 學
- 420 物 理 學
- 430 化 學
- 440 天 文 學
- 450 地 質 學
- 460 古 生 物 學
- 470 生 物 學
- 480 植 物 學
- 490 動 物 學

一般書類

- 000 總記・郷土資料
- 010 書 目
- 020 圖 書 館
- 030 事 業・年鑑
- 040 隨筆・雜書
- 500 叢書・全書
- 060 新聞・雜誌
- 070 協會・學會
- 080 博 物 館
- 090 稀 覓 書

宗教・哲學

- 100 宗 教
- 110 神 道
- 120 佛 教
- 130 基 督 教
- 140 哲 學
- 150 日 本 哲 學
- 160 東 洋 哲 學
- 170 西 洋 哲 學
- 180 心 理
- 190 倫 理

政治・法律・軍事

- 200 政 治
- 210 國 家
- 220 行 政
- 230 外 交
- 240 植 民
- 250 法 律

簡明十進分類網目表

- (一) 取 締 一名ヲ置キ本講ヲ代表シ講務ヲ統理ス
- (二) 相 談 役 若干名ヲ置キ本講ヲ後援シ重要事項ノ協議ニ參與スルモノトス
- (三) 幹 事 二名ヲ置キ各擔任事務ニ従事ス
- 六 本講員ハ本部乃本講元ノ規約ヲ遵守スルモノトス
- 七 本講ノ經費ハ講員ノ納金及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

高岡童話の會規約

昭和九年七月

- 一 本會ハ高岡童話の會ト稱シ事務所ヲ市立高岡圖書館内ニ置ク
- 二 本會ハ童話ニ關スル研究ヲナシ本市兒童ノ純真優美剛正ナル思想感情意志ノ陶冶培養ニ資スルヲ以テ目的トス
- 三 本會ハ毎月一回童話の會ヲ開ラキ尙隨時適切ナル施設事業ヲ行フモノトス
- 四 本會ノ維持ハ會員ノ會費並ニ寄附金ニヨルモノトス
- 五 本會員ハ同好者ノ何人ニテモ入會スルコトヲ得
- 六 本會員ハ會費トシテ年額金壹圓以上ヲ納ムヘキモノトス
- 七 本會ニハ役員トシテ幹事數名ヲ置キ百般ノ事務ヲ行フ
- 八 本會幹事ハ事務ニ關シ必要ニ應ジテ別ニ細目ヲ定ムルコトヲ得

入 會 申 込 書

御會ノ主旨ヲ賛シ入會申込候也

昭和 年 月 日

高岡市 町

市立高岡圖書館内

高岡童話の會御中

四六判	$6\frac{1}{2}$	\times	$4\frac{1}{2}$
菊判	$7\frac{1}{2}$	\times	5
三三判	$8\frac{1}{2}$	\times	$5\frac{1}{2}$
四六倍判	$8\frac{1}{2}$	\times	$6\frac{1}{2}$
菊倍判	10	\times	$7\frac{1}{2}$
四六四倍判	12	\times	8
菊四倍判	15	\times	10
四六袖珍判	$4\frac{1}{2}$	\times	3
菊袖珍判	$4\frac{1}{10}$	\times	$3\frac{3}{4}$
三三袖珍判	$5\frac{1}{2}$	\times	4
三六判	$5\frac{3}{4}$	\times	3
三五判	$4\frac{1}{10}$	\times	$2\frac{3}{4}$

圖書(洋装)の形状及寸法一覽

- 730 書畫・骨董
- 740 印刷・寫眞
- 750 技 藝
- 760 音 樂
- 770 演 劇
- 780 娛 樂
- 790 運 動

文學・語學

- 800 文 學
- 810 日本文學
- 820 和歌・俳句
- 830 物語・小説
- 840 脚本・歌謡
- 850 支那文學
- 860 外國文學
- 870 語 學
- 880 日 本 語
- 890 外 國 語

歴史・地誌

- 900 歴 史
- 910 日 本 史
- 920 東 洋 史
- 930 西 洋 史
- 940 傳 記
- 950 地 誌
- 960 日本地誌
- 970 東洋地誌
- 980 西洋地誌
- 990 風俗習慣

醫學・工學

- 500 醫 學
- 510 基礎醫學
- 520 臨床醫學
- 530 工 學
- 540 土木工學
- 550 建築學
- 560 機械工學
- 570 電氣工學
- 580 鑛山工學
- 590 造船工學

農業・工業

- 600 農 業
- 610 農事・園藝
- 620 畜 産 業
- 630 蠶 業
- 640 林 業
- 650 水 産 業
- 660 工 業
- 670 化學工業
- 680 製造工業
- 690 家 政

美術・音樂

- 700 美 術
- 710 建築・造庭
- 720 彫刻・工藝

378
42

讀 書 十 禁

日光に直射させるな
火にかざして讀むな
枕にして寝るな
樂書をするな
手に唾をつけて掃るな
紙小口を折るな
開いた上で物を食べるな
濕氣のあるものゝ上に置くな
小口をさんざ突くな
下向に置くな
書架に曲げて立てるな

終

